

労働力調査（基本集計）

2019年（平成31年・令和元年）4～6月期平均（速報）

結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6729万人と、前年同期に比べ44万人の増加
- ・ 完全失業者数は168万人と、前年同期に比べ1万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は2.4%と、前年同期に比べ0.1ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、東北、南関東、東海、九州及び沖縄は増加、近畿及び四国は同数、北海道、北関東・甲信、北陸及び中国は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、東北、南関東、九州及び沖縄は減少、北海道、北陸、中国及び四国は同数、北関東・甲信、東海及び近畿は増加

- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	3.0%	(前年同期と同率)	近 畿	2.8%	(0.1ポイント上昇)
東 北	2.2%	(0.3ポイント低下)	中 国	2.4%	(0.1 ")
南関東	2.4%	(0.2 ")	四 国	2.5%	(0.1 ")
北関東・甲信	2.7%	(0.5ポイント上昇)	九 州	2.5%	(0.1ポイント低下)
北 陸	2.1%	(0.1 ")	沖 縄	2.7%	(0.9 ")
東 海	1.9%	(0.1 ")			

図 1 地域別完全失業率

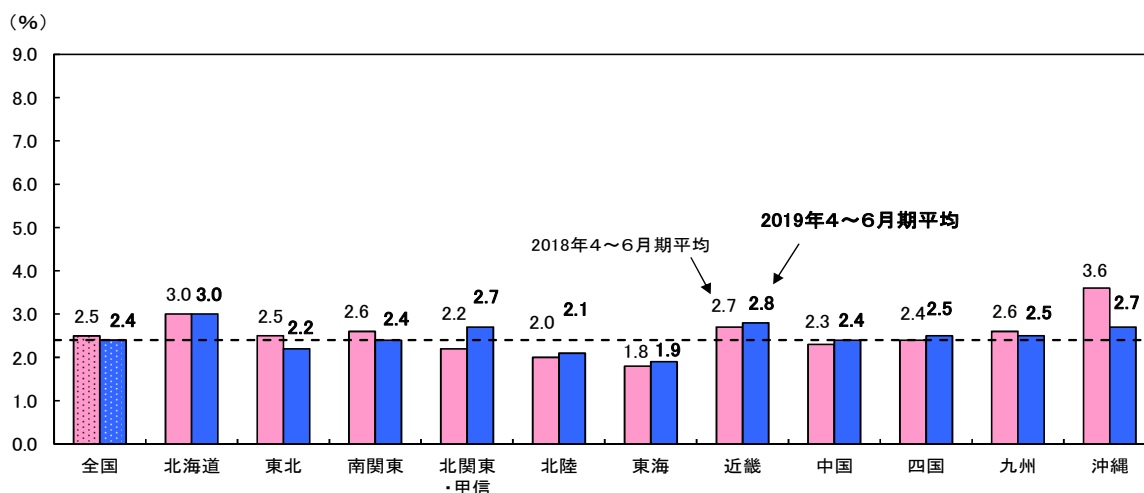


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

